

旭ヶ丘児童センター 事業評価表
※事業区分「1」…仕様書事業、「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H29	平成29年度の参加人数					実施回数 H30	平成30年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H29 年度	H30 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
乳幼児と保護者を対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳児 ・エンジェルクラブ ・星エンジェルクラブ	月2回ずつ	10	14	15	24	245	0	0	229	474	25	274	0	0	266	540	・母親同士の友達作りが出来るようにコミュニケーションゲームを取り入れて母親同士言葉を交わして交流が出来るような内容を実施。母親同士の輪が広がり、不安な事等を友達に相談しあっている姿が見られた。また、支援センターに出掛け施設を紹介し一時預かりができる事や母子推進員に体操や簡単おやつも指導してもらう場も儲け、子育て支援に努めた。
		② 乳幼児クラブ 1歳児 ・ちびっこクラブ	月2回	10			16	231	0	0	221	452	16	222	0	0	187	409	・親子遊びを大切にし、主活動の前に親子で遊ぶ触れ合いの時間を設けた。「1年を通して、我が子や他の子ども達の成長と一緒に見ることが出来て楽しかった」というアンケートの声が多く聞けた。
		③ 乳幼児クラブ 2歳児 ・なかよしクラブ ・キンダークラブ	月2回ずつ	10			32	479	0	0	401	880	32	507	2	0	389	898	・市が推進する「子重トレーニング」を取り入れ、親子でスキンシップをしながら楽しく体力増進ができるように努めた。児童センターで遊んだ内容を実際に「家でも遊んでいます」と言う意見が多くアンケートで聞けた。 ・明和幼稚園の園児に来館してもらい、乳幼児親子と触れ合い遊びを実施。また、旭ヶ丘保育園の園庭解放で連携をとり児童センターでも気軽に申込みが出来るようにした。また、園訪問もさせていただき、園の雰囲気を知る機会を作った。
	小 計						72	955	0	0	851	1806	73	1003	2	0	842	1847	
	2	④ 乳幼児自主事業 ・おはなしの会 ・幼児トランポリン ・キッズひろば ・園児あそぼう会 ・バランスボールでスタイルUP ・リトミックであそぼう ・ママと子の健康教室 ・季節行事(母・父・敬老の日プレゼント作り、水遊び、クリスマス作り)	月3、4回程度		14	15	58	515	8	18	456	997	59	614	7	11	484	1116	・「リトミック遊び」や「園児あそぼう会」で運動遊びやおやつ作りを実施。利用者の要望に応え取り入れた。 ・食育事業として収穫体験や採れた野菜で年4回親子クッキングを実施。親子の共通体験を通し、会話も増え親子のコミュニケーションが増えるよう配慮し親育ちに取り組んだ。 ・「バランスボール」は、口コミで「楽しい」と広がり、市内のあちこちからの参加が有り好評だった。それをきっかけに、児童センターを知り、母親クラブの行事に一般で参加してくれる方も増えた。
小 計							58	515	8	18	456	997	59	614	7	11	484	1116	

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H29	平成29年度の参加人数					実施回数 H30	平成30年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H29 年度	H30 年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
児童を対象とした事業	1	① 一輪車クラブ	月2～5回	6	14	15	26	2	329	0	44	375	24	21	428	0	15	464	・29年度まで「リトルママ」とし、簡単手芸やおやつ作りをする女の子のクラブを実施していたが、30年度より男の子も参加できるように「わくわくキッズ」と名称を変更し、バス乗車体験や高根山までハイキング等、アウトドアな内容も取り入れた。また、年間通したクラブから半期ごとに募集をし、より多くの子ども達が参加できるように工夫した。「一輪車クラブ」では、一輪車検定の検定表に沿って練習し、タイヤ乗り等上級の技をお祭りで紹介すると、興味を持った子が沢山おり2倍の申込みがあった。このことから、クラブ員の参加人数が増加した。
		子どもスタッフクラブ	月2回				24	2	279	0	9	290	26	0	297	1	2	300	
		わくわくキッズ	月1回				10	0	158	0	4	162	10	0	237	0	16	253	
		② ボランティア活動	年5回				18	1	67	4	3	75	24	5	93	9	10	117	・「土曜日の活動日は習い事があるため来られない」と言う子が多いので、平日に行うボランティアに参加できるよう回数を増やした。地域ボランティアの協力により、畑づくりや草取りを一緒に行ったり、ボランティアする心を地域の方と一緒に大切に育てていきたい。
	小 計						78	5	833	4	60	902	84	26	1055	10	43	1134	
	2	③ 児童 自主事業 ・体力測定 ・チャレンジ番付(毎月) ・おはなしの会(毎月) ・ドッジボール大会 ・かんたん工作 ・ムシキング大会 ・季節行事(母・父・敬老の日プレゼント、デイキャンプ、夏の工作、科学工作、クリスマス会等) ・体幹を鍛えようコアキッズ ・子どもスタッフ交流会(7館合同) ・一輪車交流会(本土児童館合同)	月5回程度		12	15	77	69	692	55	109	1005	84	84	807	70	130	1091	・体力増進に繋げた「体力測定」を年4回実施。前屈や背筋測定器を使ったり、新に握力計も購入し、個人カードに記入し1年でどれだけ記録が伸びるかをまとめた。多治見市の児童が全国平均値まで届かないソフトボール投げに見立てた、タオルボール投げや遊戯室の壁から壁を走る早さも取り入れた。記録をとると、「前の記録より頑張る」と言う意欲も沸き、前向きに取り組む事ができた。 ・「おはなしの会」さんによる読み聞かせでは、昭和の時代に出版された絵本も読み聞かせてくれる。絵のタッチ、当時の写真付の絵本など時代を感じさせる絵本は貴重な物で、良い経験になる素晴らしい時間になっている。
		小 計						69	692	55	109	1005	84	84	807	70	130	1091	

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H29	平成29年度の参加人数					実施回数 H30	平成30年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H29年度	H30年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
地域・多世代間交流事業	1	① 児童館まつり ・ザ・感謝祭 ・やよいまつり	年2回	1			2	26	118	55	63	262	2	66	190	63	116	435	・「感謝祭」では、50匹の甲虫や一輪車等寄付していた方、畑作りや館庭整備、名人講師の方々、共催して行事を盛り上げてくれている団体等地域の皆様の招待し、子ども達の手作り感謝状を渡す贈呈式を実施。感謝の心を持つ大切な機会となっている。「やよいまつり」は初めて中学生ボランティアが全て企画した遊びコーナーを展開した。母親クラブの遊びコーナーも盛り上がり、幼児から大人までが楽しむ事ができ、参加者もおおよそ180人アップした。
		② 移動児童館 ・35区夏祭り ・公民館まつり ・北栄小学校PTA主催「楽しみな祭」 ・子どもの文化祭 ・35区どんどこ焼き ・子ども会連携「小名田小滝集会所」	年4回		14	15	3	102	276	20	194	592	6	125	358	22	241	746	・運営委員会で、小滝の区長が「素晴らしい行事を沢山実施しているのに小滝は遠い地域でなかなか参加できない。是非小滝にきて行事をして欲しい」という要望があり、子ども会と連携し、夏休みに科学工作を実施。大変好評で毎年連携をして実施していく事になった。 ・地域行事の新企画、「子どもの文化祭」に作品展や遊びコーナーで参加し活動PRできた。子どもだけではなく、作品展を見に来た大人(老人)も参加を呼びかけ楽しんでもらい笑顔が溢れた。また、子どもスタッフがごみ拾いをしながら危険箇所を見つけ作成したハザードマップも好評だった。
	小 計						5	128	394	75	257	854	8	191	548	85	357	1181	
	2	③ 地域 多世代間 交流 ・地区社協との共催事業「お花見会」「お月見会」 ・食育事業 ・壁面飾り ・季節行事「ハロウィン」「豆まき等」 ・百人一首大会 ・ファミリー事業 ・なりきり消防隊 ・大人ボランティア ・福祉施設訪問 ・うながっぱに会おう	月2, 3回程度		15	14	50	168	416	40	217	841	46	153	364	44	222	783	・地域の大人ボランティアを募集、乳幼児クラブや季節行事の準備と一緒に取り組んだ。手作りする事が好きな母親が多く、協力者の口コミで広がり2名から6名になった。「楽しかった。また、手伝います」と協力的な声が聞け、地域資源を大切に今後も一緒に進めていきたい。 ・地域のお宅を回ってお菓子をもらう「ハロウィン」の行事は2年目となったが、参加者から「もっとお宅を回りたい」と言う要望が有り、地域の方が新たに2軒協力していただき、当日は5軒のお宅を子ども達が回る事ができ幼児から大人まで仮装して楽しめた。
	小 計			1			50	168	416	40	217	841	46	153	364	44	222	783	

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H29	平成29年度の参加人数					実施回数 H30	平成30年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H29 年度	H30 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
中高生事業	1	① 中高生ボランティア	夏休み 10月 12月 3月	3	12	14	9	0	0	56	3	59	12	0	5	90	1	96	・中学校3年生の生徒が、どの行事の活動にも一番多く参加してくれた。意欲的な子が多く、行事の前準備から片づけまで、良く気がつき動く姿が印象的だった。また、その姿を見て「中学生になったら参加する」と、中学生への魅力を感じ、未来への期待をもつ小学生の声が多くあがった。
	小 計						9	0	0	56	3	59	12	0	5	90	1	96	
	2	② 中高生 自主事業 ・ブレバパママ体験 ・中学生企画 「なわとび大会」 「やよい祭り」プロデュース ・中学生大掃除隊	夏休み 1月 3月		15	15	6	14	23	72	17	126	12	13	43	54	12	122	・中学生企画の行事「なわとび大会」「やよいまつり」を全てプロデュースした。遊びに来ている子に「何か企画してやってみない？」と声をかけると「やりたい！」と、企画の段階からワクワクして色々なアイデアが出た。当日までの準備にも自ら何回も足を運び準備していた。当日は、緊張感と達成感で満たされやりきったキラキラした姿が見られ、自己肯定感にも繋がった。
	小 計						6	14	23	72	17	126	12	13	43	54	12	122	

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H29	平成29年度の参加人数					実施回数 H30	平成30年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H29 年度	H30 年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進	1	① 相談事業	月1回	12	14	15	15	8	1	0	15	24	12	7	0	1	11	19	・相談日の相談来館は12件。我が子の発達の事や困った姿などを相談される方が多かった。相談日以外には66件の相談があった。児童からの相談も有り、学校や市と連携を図りながら支援した。
		② 講習 講演 他連携 「わんぱくまつり」 赤い羽根共同募金配分金事業 「じどうかん相撲体験」 歳末助け合い募金配分金事業 「猿回しシゲ&モンタ」 北陵中学校主催 「地域清掃」 子どもスタッフ保育園訪問	年5回	2			8	42	90	3	102	237	5	101	65	1	64	231	・「相撲体験」では、実際に子ども達が力士と取り組みや綱引きなどの力比べをして、大きな力士と触れ合い色々な事を感じ取る事が出来た。また、幼児や大人の方の触れ合える時間も作ったので、抱っこしてもらったり、一緒に記念写真を撮ったり貴重な時間になった。 ・「保育園訪問」では、子どもスタッフが準備して訪問した。ピアノを習っている子が、「自分のピアノに合わせて遊びがしたい」と練習に励み、当日は自分のピアノで園児が歌ったり、動く姿を見て、将来の保育士になる夢が一步近づいた良い経験となった。 ・「ガサガサ探検」は猛暑のため、「サロンとの交流」はインフルエンザ流行により中止となった。
		② 母親クラブ	毎月1～2回				8	92	0	0	96	188	16	161	25	0	193	379	・初年度だった1年目は、3役を中心に地域交流やボランティア活動等、やってみたいことを他館の母親クラブに聞きながら実施した。3役員がとても楽しく進めてくれたので、25名の会員になり、会員の母親の中から得意な事や資格を持った方が講師となり毎月1～2回の実施で楽しみながら活動できた。また、「子育て親育ちが楽しく出来る多治見市にしたい」と意欲的にコミュニケーションの輪を広げ活躍している姿があった。
	小 計						31	142	91	3	213	449	33	269	90	2	268	629	
	2	③ 子育て 自主事業 ・ なないろ広場 ・ 一緒に元気広場	年11回		14	15	10	40	0	0	39	79	11	63	15	3	82	163	・「なないろ広場」は30年度も保健センターや発達支援センターとさらに連携を図り、少人数体制で支援をしていく。参加した母親のアンケートでは、「少人数だから、子どもが伸び伸びと楽しく参加でき成長が見られた」「会終了後の、母親同士や職員と話をできる時間が悩みを聞いてもらえて安心できる良い時間だった」等、母親のケアの時間ともなった事が伺えた。 ・「一緒に元気広場」は、障害を持つ子と健常児と運動会ごっこを通して、和気あいあいと交流する事ができた。分け隔てなく遊びを通して交流できるこの行事の大切さを感じた。
	小 計						10	40	0	0	39	79	11	63	15	3	82	163	